

令和7年度 特別展

じゃもんがん

蛇紋岩と 謎に包まれた 黒瀬川帯

日本の地質学会でも大きな謎の一つとされており、また化石も多く産出している黒瀬川帯。佐川町にも黒瀬川帯は分布しており、佐川町が「地質のメッカ」と呼ばれている理由のひとつにもなっています。

Serpentinite and the enigmatic Kurosegawa Belt

令和7年

5.24



令和8年

5.10



佐川地質館 特別展示室

開館時間：9:00～17:00(入場は16:30まで)

休館日：月曜日(祝日と重なる場合はその翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

入館料：大人 300円(団体240円)、小中高生 100円(団体80円)

※団体割引は20名以上

※佐川町内の65歳以上の方高知県長寿手帳所持者、療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・身体障害者手帳1級または2級の所持者とその介護者(1名)は無料

主催：佐川町教育委員会

協力：高知県立牧野植物園、越知町立横倉山自然の森博物館、四国西予ジオミュージアム、廣田隆吉氏

NASA Shuttle Radar Topography Mission (<https://doi.org/10.5069/G9445JDF>) 及び20万分の1地質図幅「東京」「宇都宮」「長野」「甲府」「飯田」「豊橋及び伊良湖岬」「伊勢」「和歌山」「高知」「愛媛」、5万分の1地質図幅「碓用」、島村ら(2003)地質学雑誌109(2)116-132を参考に作成。



佐川町立

佐川地質館

Sakawa Geology Museum and Institute

令和7年度 特別展

蛇紋岩と 謎に包まれた 黒瀬川帯

黒瀬川帯は、東西に約1,000kmも伸びる細長い地層帯で、南北を秩父帯に挟まれています。秩父帯が主にジュラ紀の地層からなるのに対し、黒瀬川帯は古くはオルドビス紀(約4.9~4.4億年前)にまでさかのぼるより古い時代の岩石を含み、よく蛇紋岩に挟まれるように分布しています。

四国では戦前から周囲と異なる岩石の存在が知られ、1940年代にはシルル紀(約4.3億年前)のサンゴ化石が発見されました。その後の調査で、黒瀬川帯が関東から九州にまで伸びていることが明らかになりました。

なぜこのように古い時代の岩石が、このような分布をしているのでしょうか?日本列島形成の謎にも迫る特別展です。

The Kurosegawa belt is a long strata that extends about 1,000 km from east to west, and is sandwiched between the northern and southern Chichibu belts. While the Chichibu belt is mainly composed of Jurassic strata, the Kurose River belt contains older rocks dating back even to the Ordovician period (about 490 to 440 million years ago) and is often distributed in a way sandwiched between serpentine.

In Shikoku, the existence of rocks different from the surrounding area was known before the war, and coral fossils from the Silurian (about 430 million years ago) were discovered in the 1940s. Subsequent surveys revealed that the Kurosegawa belt extends from Kanto to Kyushu.

Why do such old rocks have such a distribution? It is a special exhibition that also approaches the mystery of the formation of the Japanese archipelago.

Serpentine and the enigmatic Kurosegawa Belt

佐川町立 佐川地質館
Sakawa Geology Museum and Institute

〒789-1201 高知県高岡郡佐川町甲360番地
TEL 0889-22-5500

